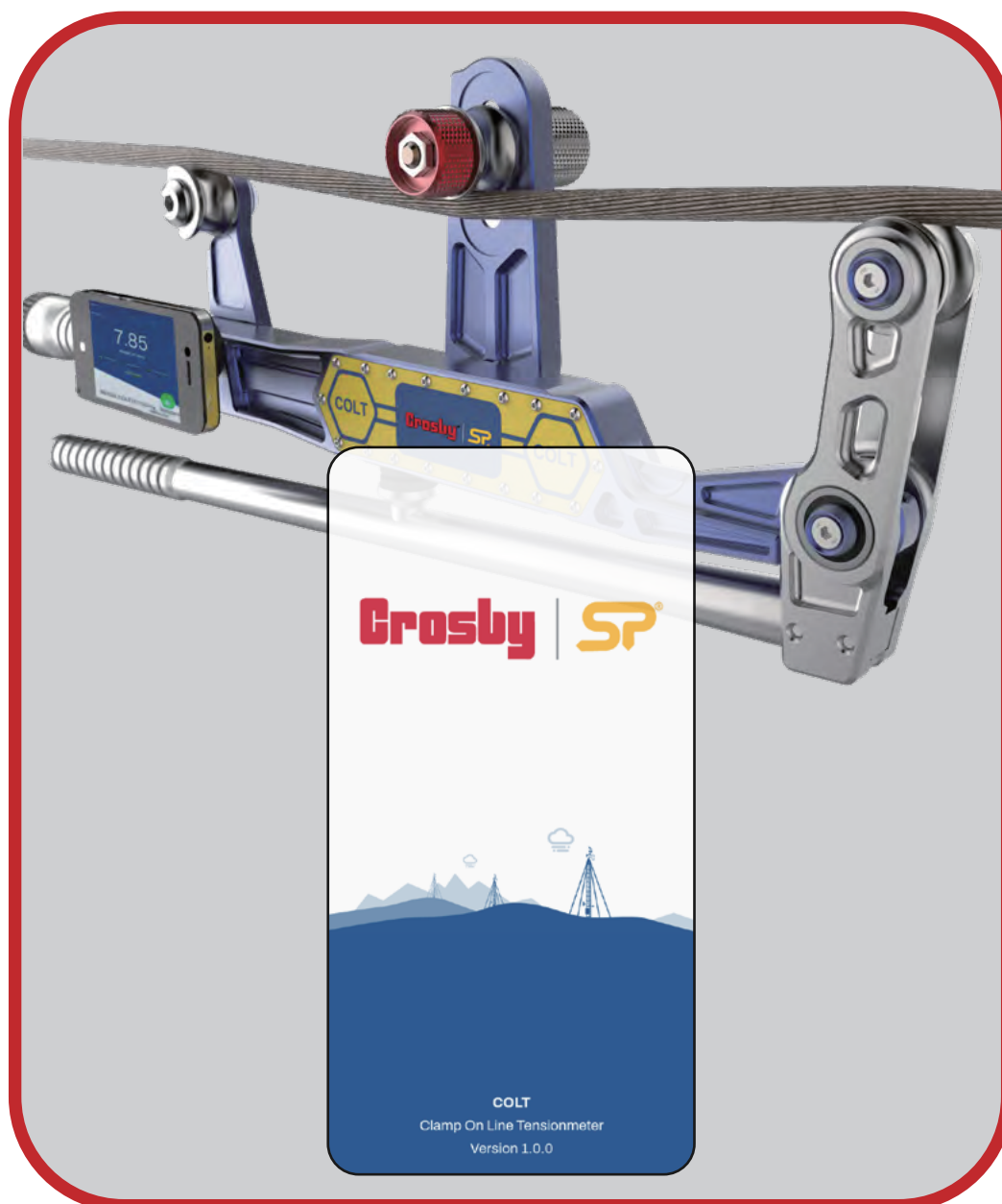
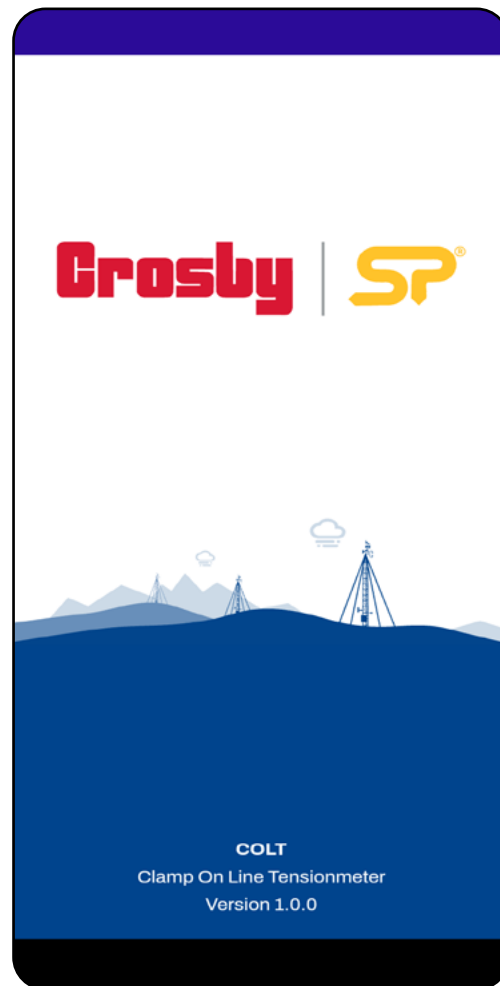


COLT App 4 取扱説明書



目次

1. COLT4アプリの紹介	03
2. アプリのダウンロードとインストール	04
3. アプリの使い方	04-05
3.1 ホーム画面	06-07
3.2 モード選択	08
3.2.1 ワイヤロープモード	08-15
3.2.2 エレベーターモード	16
3.2.3 データログのテンプレート	16
3.2.4 過去の作業・レポートのインポート	17
エレベーターカゴの重量測定	18
エレベーターカゴのバランス測定	19
3.2.5 作業の中断	20
3.3 ワイヤロープの選択	21
3.4 校正の簡易チェック	22
3.5 ユーザー設定	23
3.6 レポート	23
3.7 COLTの接続・解除	23
3.8 ワイヤロープデータベースの更新	23
3.9 ヘルプ	23
3.10 製品情報	23



1.0 COLT4アプリの紹介

COLTアプリ4は、クランプ式ワイヤーロープ張力計コルト(COLT)でタワーラインやワイヤーロープの張力を測定するために開発されたAndroid/ iOSアプリです。

Bluetooth Low Energy通信規格を利用して周囲にあるコルトを正確に検索・接続し、コルトが読み取った張力値をアプリで表示させることができます。

COLTアプリ4は非常にシンプルで信頼性が高く、使いやすいアプリです。モバイル端末のメモリ容量に応じて高度なデータログを実行できるほか、ユーザーはログデータを表示したり、電子メールで送信することもできます。

もう一つの魅力的な機能は、“ワイヤーロープデータベースの更新”です。現在、約150種類以上のワイヤーロープがアプリに登録されておりCOLTで測定可能ですが、今後もワイヤーロープの種類はさらに増えていく予定です。データベース更新はアプリ内でワンクリックで行うことができ、ユーザーは全てのワイヤーロープの仕様をデータベースで確認できます。

2.0 アプリのダウンロードとインストール

COLTアプリ4はAndroidデバイス、iOSデバイスの両方でご利用いただけます。下記QRコードからGoogle Play Store 又は iOS App Store にアクセスしアプリをダウンロードしてください。

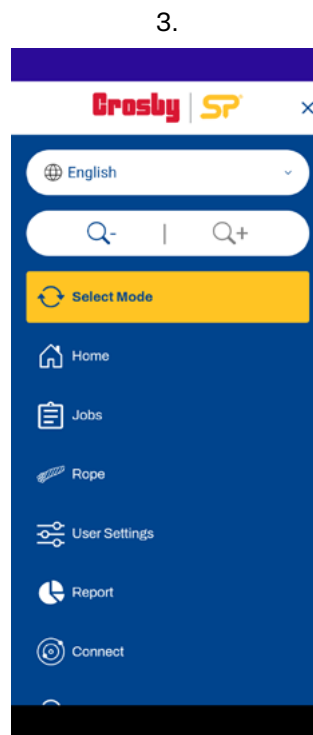
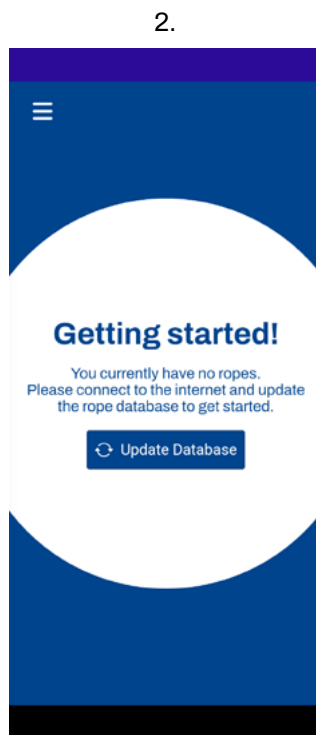
注: 本アプリはAndroid 7.0以降で動作し、ディスプレイサイズ4インチ以上のほぼ全てのデバイスでの使用に適しています。(但しSamsungの一部モデルを除きます。これはBLE接続に関するメーカーの欠陥によるものです。)

Appleデバイスは iOS 14以降で動作し、iPhone 6s以降のデバイスでの使用に適しています。



3.0 アプリの使い方

1. インストール後、アプリを起動するとスプラッシュ画面(1)の後に利用規約が表示されますので同意します。
2. 画面が切り替わり、ワイヤーロープデータベースのダウンロードが求められます(2)。データベースの更新(Update Database)ボタンをクリックします。
3. メニュー画面(3)が表示されます。ここで言語設定やディスプレイ(文字)サイズの大きさを変更できます。



ワイヤーロープデータベースのダウンロードが終了すると、COLTとの接続画面が表示されます。

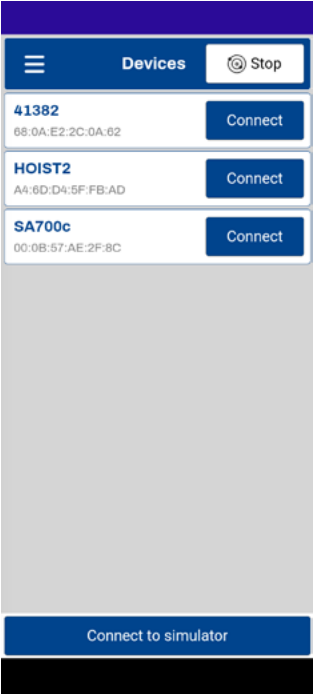
ユーザーは周辺にあるCOLTをスキャンして接続することも出来ますし、実機がなければシミュレータに接続してアプリの動作を確認することも出来ます。アプリからデバイスの位置情報の取得とBluetoothのオンの許可を求められますので、許可してください。

スキャンすると、接続可能なCOLTのシリアル番号(本体に刻印)が表示されます。

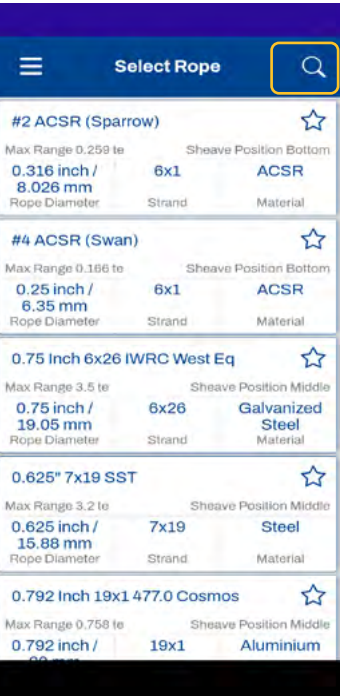
COLTのスキャンを開始すると、周辺にあるBluetoothモデルのロードセルのシリアル番号(本体に刻印)が表示されます。接続するCOLTを選択してConnect(接続)ボタンをタップしてください。(この時COLT以外のロードセルには接続しないでください)

アプリを初めて使用する場合、COLTと接続すると、画面が切り替わりワイヤーロープの一覧が表示されます。測定するロープを選択してください。

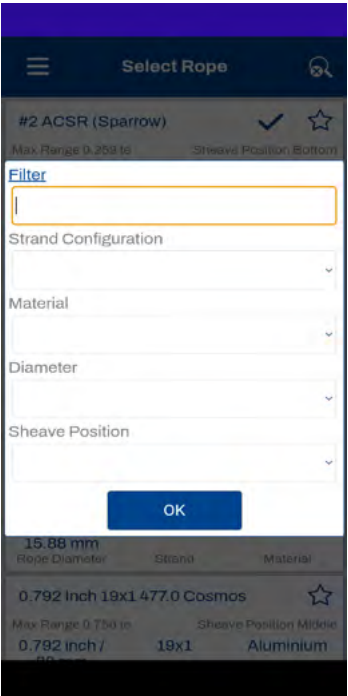
ワイヤーロープデータベースには150超の種類のロープが登録されています。



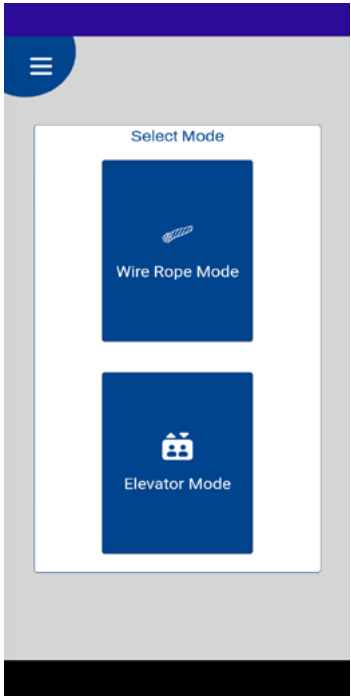
画面右上のアイコンからワイヤーロープの検索が可能です。



ロープはFilter欄にテキストを入力しての検索、または各種ドロップダウンリストから絞り込み検索が可能です。設定したフィルターは画面右上のアイコンを押すとクリアできます。



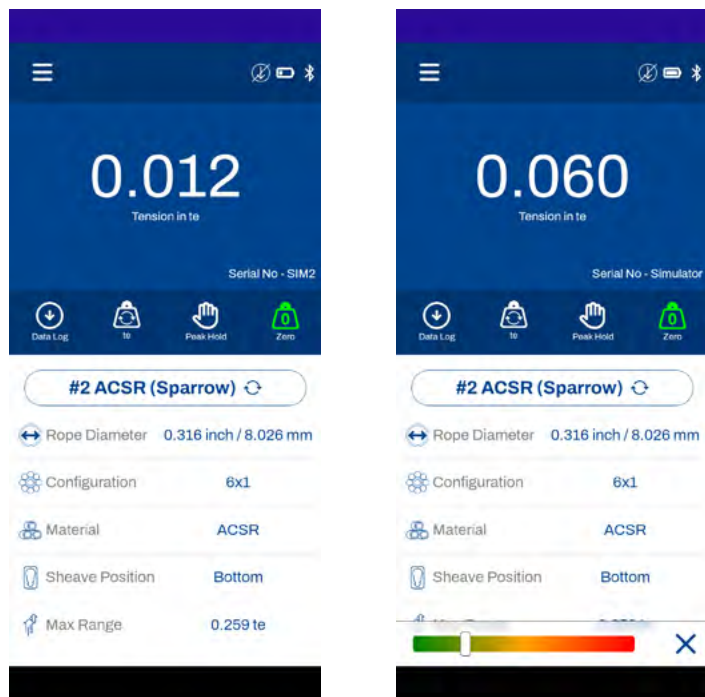
ロープを選択後、画面が切り替わり、ワイヤーロープモード又はエレベーターロープモードの選択を求められます。



3.1 ホーム画面

ホーム画面ではスクリーン上部で張力読取値を確認でき、またこの画面から単位変更(Change Unit)、データロギング(Data Log)、ゼロ設定(Zero)、ピークホールド(PeakHold)などの設定が行えます。

さらにホーム画面下部では選択したワイヤーロープの詳細が確認できます(ロープ径(Rope Dia)、ロープ構成(Configuration)構成、材質(Material)、コルトのシーブポジション(Sheave Position)、校正時の最大値(Max range))。画面右上のアイコンではコルト本体の電池残量、Bluetooth接続、オーバーロードの有無、現在選択されているデータログ方法が確認できます。



シミュレータに接続している場合、スライダーバーが画面下部に表示され、仮想の読取値を自由に調節してアプリの動作を確認することが出来ます。

スライダーバー表示は閉じることも出来ます。

 Data Log(データログ): データログを開始することができます。このタブをタップし、‘Job Details(ジョブ詳細)’で必要な情報を入力してください。latitude(緯度)、longitude(経度)、temperature(気温)、windspeed(風速)、wind direction(風向)を入力し、Datalog type(データログタイプ)を選択します。選択されてデータログタイプはホーム画面の右上にアイコンで表示されます。

 Unit(表示単位): 読取値の表示単位を変更することができます。ドロップダウンリストからkg、te、lbs、kNを選択してください。但しここでの変更は一時的なものです。

Peak Hold(ピークホールド):このタブをクリックすると、ピークホールド値を保持できます。再度タブを押すと、ピークホールド値が解除されます。

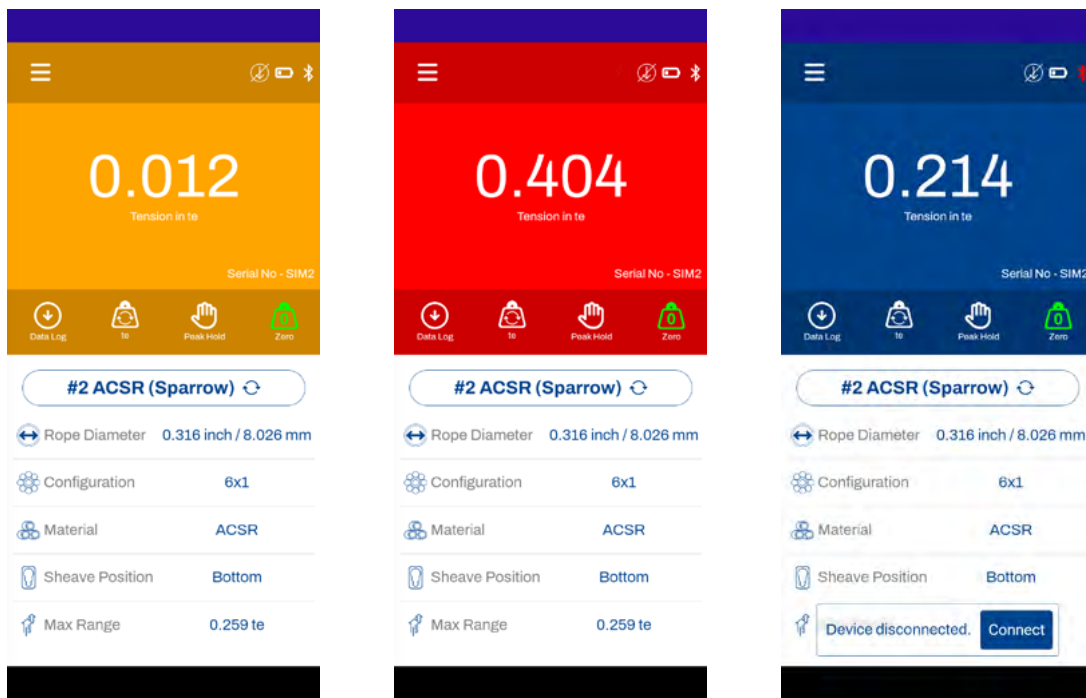
 Zero(ゼロ調整): このタブをクリックすると、現在の読取値をゼロにすることができます。ロープごとにゼロシフトが発生しますので計測前には必ずゼロ調整を行い、読取値がゼロであることを確認するようにしてください。

アラーム機能: オーバーロード又はアンダーロード アラームがホーム画面に表示されます

ユーザーが設定したしきい値に応じて、視覚および音声によるアラームが作動します。アラームは、画面をタップするか、荷重値をアラームしきい値範囲内に戻すことで解除できます。

アラーム機能はUser Settings(ユーザー設定)で無効にできます。アンダーロードアラームはホーム画面がオレンジ色に変化して、オーバーロードアラームでは赤色に変化します(下記画像)。

注: ご使用のCOLTとアプリとの接続が切れた場合、ホーム画面に表示されるポップアップ画面で通信の切断が通知されます。ポップアップ画面内のConnect(ボタン)をタップするとCOLTとの再接続を実行します。



3.2 モード選択

COLT4アプリでは2つの測定モードを選択できます:

1. Wire Rope Mode ワイヤロープモード
2. Elevator Mode エレベーターモード

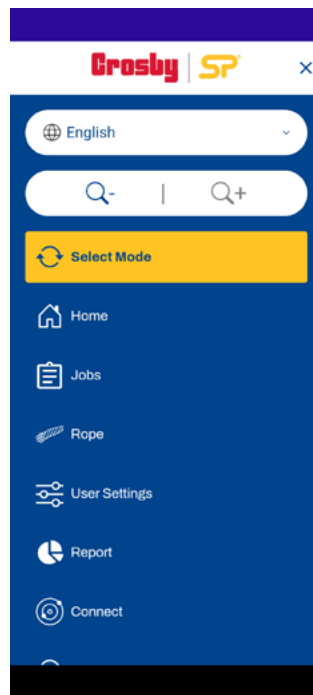
モード選択はメニュー画面から行えます。現在選択中のモードは、メニュー内の黄色背景に表示されています。モードボタンを押すと、ユーザーはモードを変更することができます。

1. Wire Rope Mode (ワイヤロープモード)

選択したワイヤロープの張力を測定してデータロギングを行う標準的な測定モードです。

2. Elevator Mode (エレベーターモード)

エレベータかごの重量測定やバランス調整のデータロギングを行うことのできる測定モードです。



3.2.1 ワイヤロープモード

このモードを選択すると、アプリは前回接続したCOLTへの再接続を試みるか、周辺のBluetoothデバイスを検索する接続画面へと移動します。接続可能なデバイスのシリアル番号が表示されますので、使用したいCOLTのConnect(接続)ボタンをタップすると接続できます。
(アプリを正常に動作させるためには、ユーザーが必要なすべての権限を許可する必要があります。)

COLTへの接続が完了したら、ホーム画面に切り替わります。

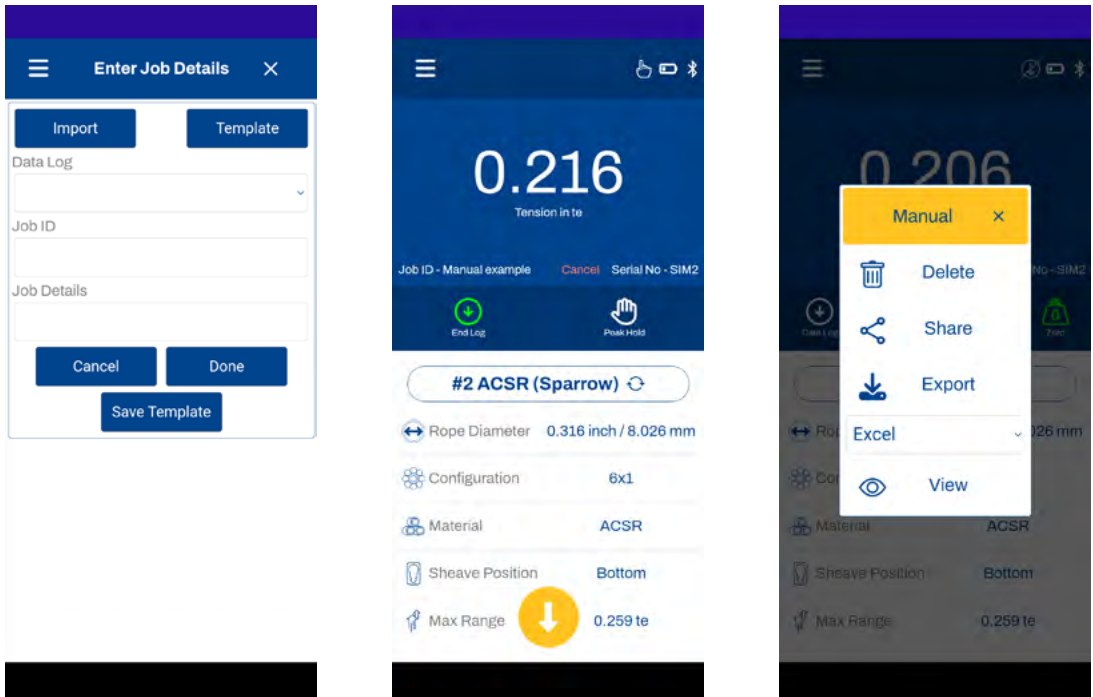
Datalog(データログ):

ワイヤロープモードでは様々なデータロギングタイプが選択可能です:

- Manual (手動ログ)
- Timed (自動ログ)
- Multi Anchor (マルチアンカーログ)
- Custom (カスタムログ)
- Overload (オーバーロードログ)
- Average (平均値ログ)
- Multi Wire (マルチワイヤーログ)

- **Manual(手動ログ)**を選択した場合、ホーム画面右上部には👉が表示されます。

Enter Job Details(ジョブ詳細)を入力後REC(記録)ボタン👉を押すとその瞬間の読取値がログファイルへ記録されます。このデータログタイプは手動のオンデマンド処理です。すべてのデータ入力完了したら、End log(ログ終了)ボタンを押して記録データファイルを保存してください。その後、ポップアップ画面が表示され、記録ファイルを表示・共有・削除するオプションが提示されます。



- **Timed(自動ログ)**を選択した場合、ホーム画面右上には🕒が表示されます。

このモードでは、ジョブ詳細入力後に記録開始ボタン🟢を押すと自動でデータロギングが開始されます。データログ間隔はUser Settings(ユーザー設定)で設定できます。すべてのデータ入力完了したら、Stop(停止)ボタンを押してデータログを終了します。その後、ポップアップ画面が表示され、ログファイルの表示・共有・削除するオプションが提示されます。

- **Multi Anchor(マルチアンカーログ)**を選択した場合、ホーム画面右上には📍が表示されます。

マルチアンカーログでは、鉄塔に関連する詳細情報を設定できます。ユーザーは、Site(作業現場)、Tower(鉄塔)、Number of Anchors(アンカー数)、Wire levels(ワイヤー高度)の仕様を追加できます。

作業現場の詳細:

鉄塔の詳細:

ここで選択した高さ及び幅寸法の単位は他の項目にも適用されます。

アンカー数の詳細:

各アンカーのIDは必須項目です。その他の項目については未入力の場合、データタロギング画面から修正可能可能です。

標高(高さ)はタワーの基部を基準に測定されます。

ワイヤー高度の詳細:

トルクアームチェックボックスがあり、そのレベルでトルクアームが使用されたことをユーザーが指定できます。

これにより、左・右・中央の位置を指定することが可能になります。

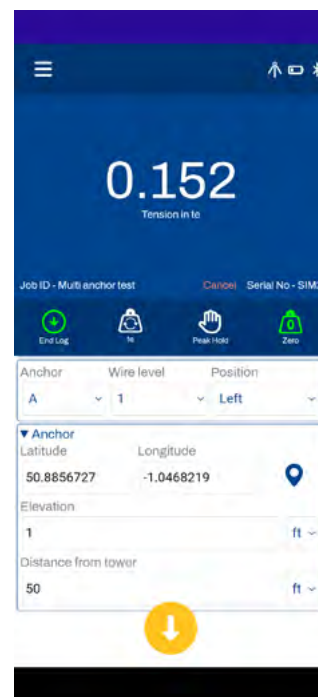
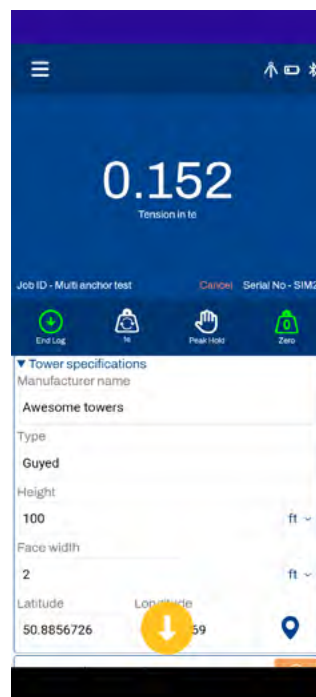
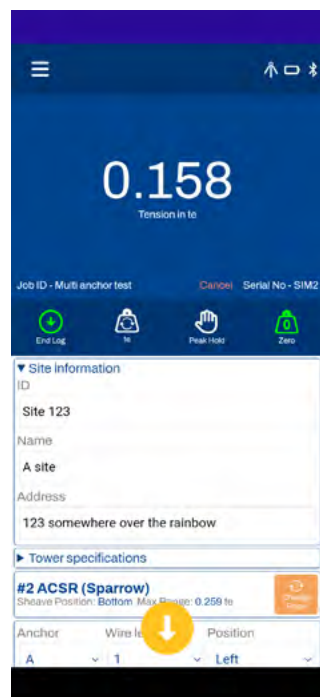
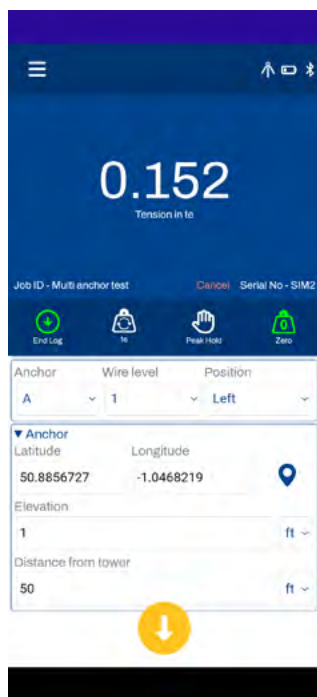
この設定が正しいことを必ず確認してください。このボックスをチェックまたは解除すると、最小/最大張力セクションの入力が削除されます。

最小および最大張力ボックスでは、各アンカーと対応するワイヤーレベルに関する情報を事前に入力することができます:

任意設定: 入力した情報を繰り返し使用する場合には入力情報をテンプレートとして保存することができます。ロープオプションにチェックを入れている場合、ログ記録時に表示されるロープが自動的にそのロープに切り替わります。ロープ名をタップすると、別のロープを選択することができます。「Add/Update」を押すと、表示されているアンカーとワイヤーレベルの情報が設定され、その記録情報が表示されます。各入力項目の横にあるゴミ箱ボタンを押すと、その詳細が削除されます:

次にデータログ画面に切り替わります:

サイト情報、タワー仕様、そして現在選択されているアンカーセクションは、ユーザーがデータを更新する必要がある場合に展開できます:



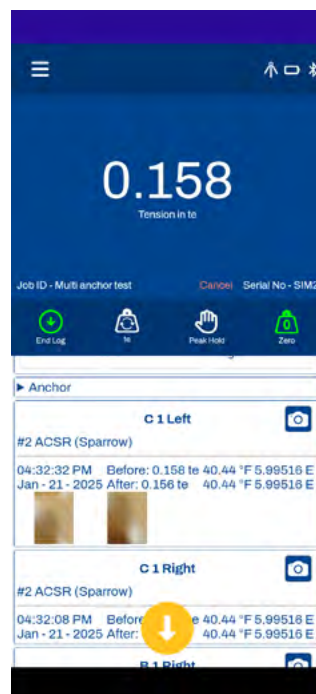
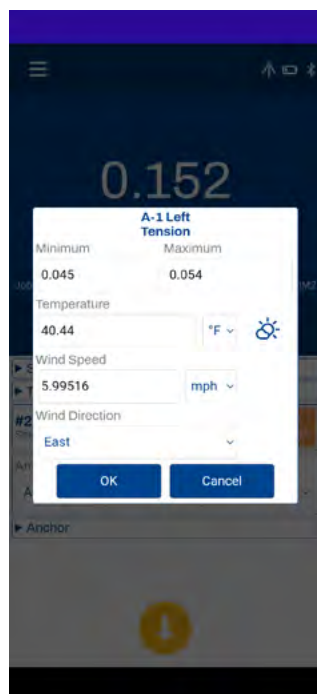
記録ボタン📌をタップするとポップアップが表示され、下記詳細情報が追加で入力・記録できます。

天気アイコン☀️を押すとインターネット上の気象サービスから天気情報を取得します。

また、まだ入力されていない場合は、ユーザーの現在位置を使用してアンカー位置を自動入力します。

各入力には「前」と「後」があります。ユーザーが既存の入力に対してログを記録するたびに、「前」として記録するか「後」として記録するかを確認されます。

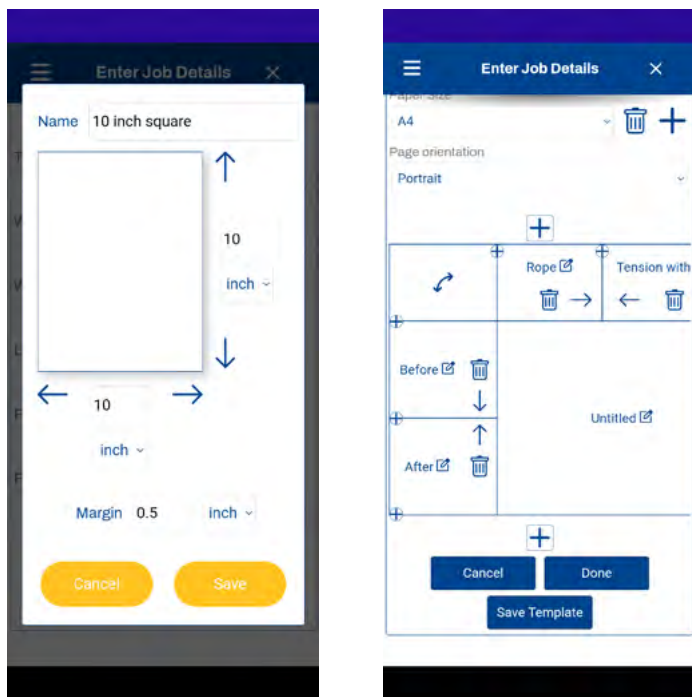
各入力には写真を撮影するためのカメラボタン📷あり、その入力に写真を添付できます。ユーザーは複数の画像を追加することができます。



- **Custom(カスタムログ)**を選択した場合、ホーム画面右上にはが表示されます。

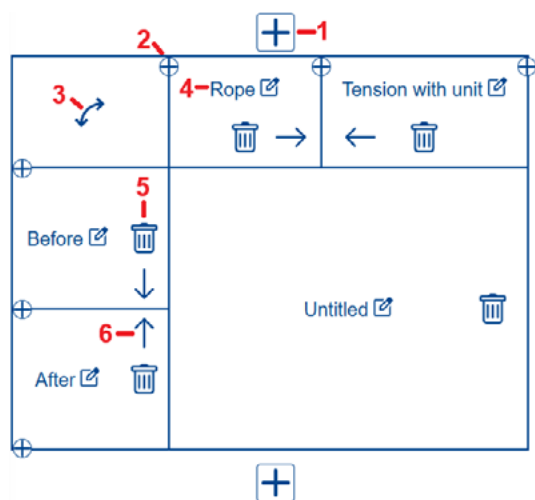
カスタムログでは、カスタムレポートを設定し複数回の測定データを取ることができます。

まずはじめにレポートのサイズと向きを選択します。Paper Size(用紙サイズ)横のアイコンで追加や削除を行うことができます。追加すると、任意の寸法を入力できる画面が表示されます:



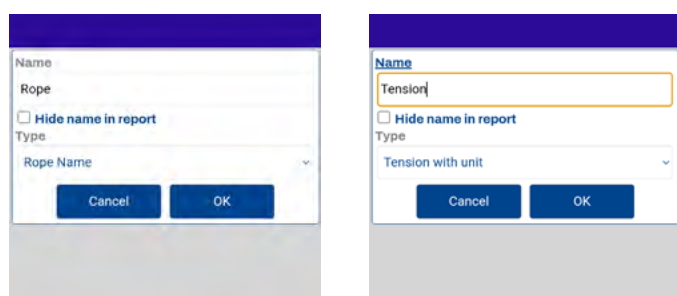
画面をスクロールすると、レポートセクションのレイアウトイメージが表示されます。

ここではレポート項目と位置を確認し、カスタマイズすることができます:



1. 大きな四角い追加ボタンを押すと、現在のセクションの前または後に新しいセクションを追加できます。
2. 小さな丸い追加ボタンを押すと、指定された行または列に見出しやレコードをカスタムレポートに追加できます。
3. カーブ矢印を押すと、見出しとレコードの位置を入れ替えることができます。
4. セクション名、見出し、またはレコード名をタップすると、追加オプションが表示されます。これには、名前の変更、レポート生成時の名前の非表示設定、見出しに含めるデータの種類の指定などが含まれます。
5. ゴミ箱アイコンを使うと、セクション、見出し、またはレコードを削除できます。
6. 矢印を使うと、セクション、レコード、または見出しを移動できます。

ヘッダー(Header)を設定することで、各レコード入力後にユーザーに必要な情報の入力を指定することができます:

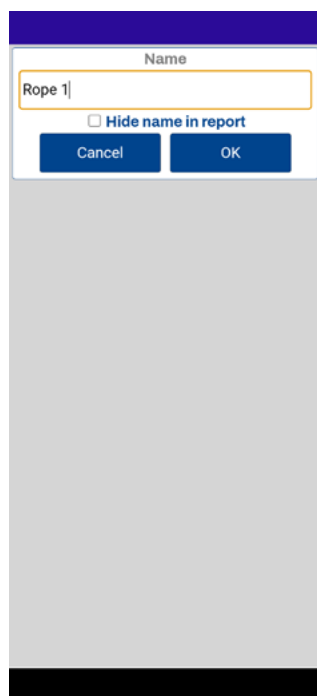


選択可能なヘッダータイプは次の通りです:

- Date(日時): 測定が記録された日付。ユーザーへの入力は不要で、自動的に記録されます。
- End temperature(終了時温度): 終了時の温度。終了時に入力が必要とされます。
- End windspeed(終了時風速): 終了時の風速。終了時に入力が必要とされます。
- Is overloaded(過負荷): 測定時に過負荷警告が表示されていた場合に自動的に記録されます。ユーザーによる入力は不要です。
- Job details(作業内容): 入力された作業内容。
- Job end date(作業終了日): 作業が終了した日付。ユーザーによる入力は不要で、自動的に記録されます。
- Job end time(作業終了時刻): 作業が終了した時刻。ユーザーによる入力は不要で、自動的に記録されます。
- Job ID(作業ID): 作業ID。測定中に入力は不要で、作業詳細から取得されます。
- Job start date(作業開始日): 作業が開始された日付。ユーザーによる入力は不要で、自動的に記録されます。
- Job start time(作業開始時刻): 作業が開始された時刻。ユーザーによる入力は不要で、自動的に記録されます。
- Latitude(緯度): 現在地の緯度。入力は不要で、作業詳細から取得されます。
- Longitude(経度): 現在地の経度。入力は不要で、作業詳細から取得されます。
- Material(材質): ユーザーが選択したワイヤーロープの材質が記録されます。
- Multiple choice(複数選択): 作業詳細に入力された定義済みの選択肢からユーザーに選択させます。
- Prefilled text(事前入力テキスト): 自動的に入力されるテキスト。
- Rope diameter(ロープ径): ユーザーが選択したワイヤーロープのロープ径が記録されます。
- Rope name(ロープ名): ユーザーが選択したロープの名前が記録されます。
- Serial no(シリアル番号): COLTのシリアル番号が記録されます。
- Strand configuration(撚り構成): ユーザーが選択したワイヤーロープの構成が記録されます。
- Temperature(温度): 作業開始時に入力された温度が記録されます。
- Tension(張力): ユーザーが選択したワイヤーロープの張力が記録されます。
- Tension with unit(単位付き張力): ユーザーが選択したワイヤーロープの張力(単位込)記録されます。
- Text(テキスト): テキストをユーザーに自由入力させます。
- Time(時刻): 測定が行われた時刻が記録されます。
- Unit(単位): 記録時の単位が使用されます。
- Wind direction(風向): 作業開始時の風向が記録されます。
- Wind speed(風速): 作業開始時の風速が記録されます。

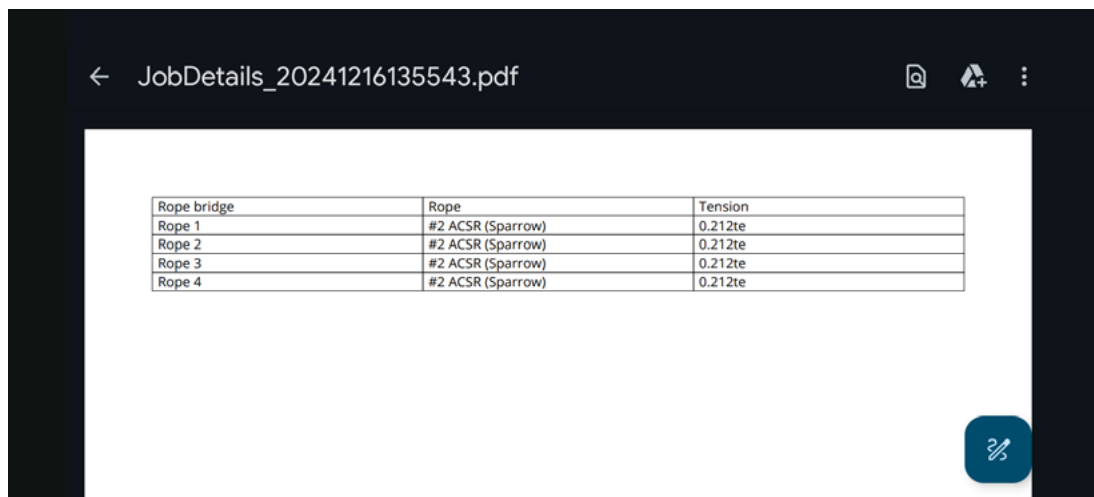
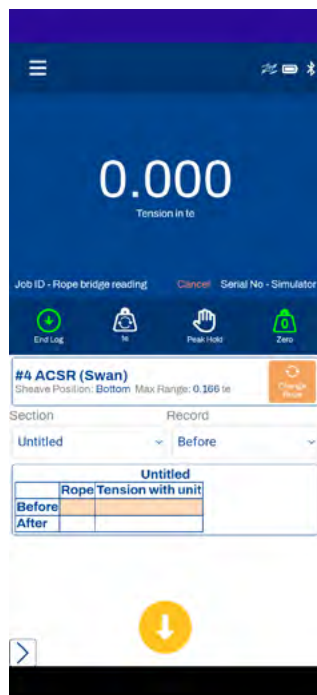
****注意事項****

- * ユーザーに表示される項目には必ず名前を付けてください。
- * また、ユーザーは記録したい内容について、いくつかのレコードを入力しておく必要があります。



The screenshot shows a mobile application interface. At the top, there is a blue header bar. Below it, a white box contains a text input field labeled 'Name' with the text 'Rope 1' entered. Below the input field is a checkbox labeled 'Hide name in report'. At the bottom of the white box are two blue buttons: 'Cancel' and 'OK'. The background of the application is a light gray.

データログの過程で、ユーザーはレポート内のセクションやレコードに対応するドロップダウンを確認できます:



ユーザーが編集集中のセクションは画面の上部に表示され、編集集中のレコードは見やすいようにハイライトされます。

- **Overload**(オーバーロードログ)を選択した場合、ホーム画面右上には  が表示されます。

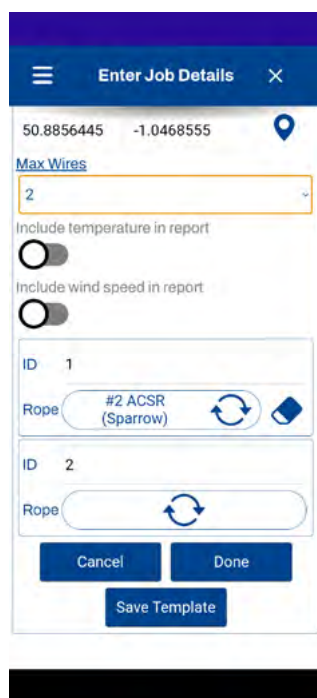
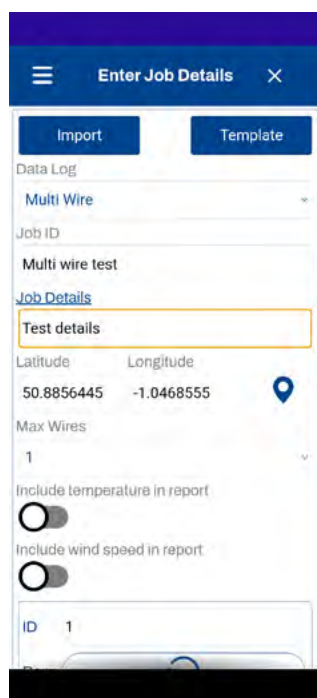
ジョブ詳細の入力後、ホーム画面のstart(スタート)ボタンを押すとデータログが開始されます。読取値がハイアラームのしきい値(詳細はユーザー設定を参照)を超過した場合に自動的にログを取ります。stop(停止)ボタンを押すとログデータが保存されます。その後、ポップアップ画面が表示され、記録ファイルを表示・共有・削除するオプションが提示されます。

- **Average**(平均値ログ)を選択した場合、ホーム画面右上には  が表示されます。

ジョブ詳細の入力後、REC(記録)ボタンを押すとその瞬間の読取値がログファイルへ記録されます。すべてのデータ入力完了したら、「End log」を押して、記録データを保存するか平均値を表示してください。その後、画面にポップアップが表示され、記録ファイルを表示・共有・削除するオプションが提示されます。

注: すべての記録データファイルは「Report」に保存されます。ここから、ユーザーはCSV/Excel/PDF形式でファイルを表示及び共有することができます。

- **Multi Wire**(マルチワイヤーログ)を選択した場合、ホーム画面右上には  が表示されます。マルチワイヤーログでは、複数のワイヤーロープのログを取ることができます:



ユーザーは、トグルスイッチを切り替えることでレポートに温度や風速を含めることができます。

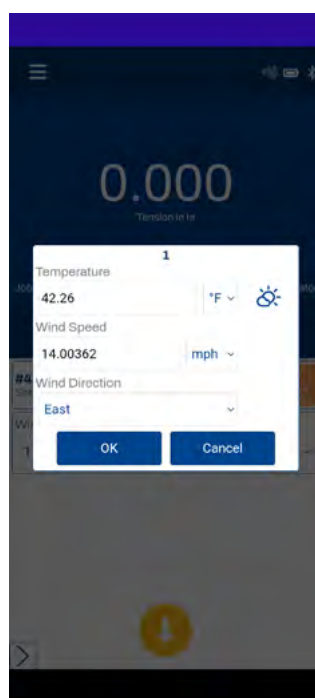
各ワイヤーには異なるIDを割り当てることが可能です。

また、後でテンプレートとして詳細を保存し、ログ記録時にロープを自動的に切り替えるために、ワイヤーに使用するロープを選択することもできます。

ロープを削除したい場合は、ロープ名の横にある消しゴムアイコンをタップしてください。

データロギング時にカメラアイコン  をタップすると写真を撮影することができます:

ジョブ詳細でtemperature(天気)やwind speed(風速)オプションを選択すると、ログを取った時に次の入力画面が表示されます:



写真は複数枚記録することができます。

天気アイコン  を押すと、インターネット上の気象サービスから現在の天候情報を取得します。

3.2.2 エレベーターモード

エレベーターモードでは、エレベータの重量計測や、その重量を基準としたバランス測定を行うことができます。バランス測定では、ユーザーは任意の本数のワイヤーロープを選択し、その本数に基づいて各ワイヤーロープに掛かる張力を確認することができるほか、スライダーグラフを見ながら各ワイヤーロープに掛かる張力を簡単に調整することができます。

データログはホーム画面のJob(ジョブ)オプションを選択すると実行することができます。Enter Job Details(ジョブ詳細入力)画面が表示されますので、そこでジョブ内容を選択できます。エレベーターモードでは2種類のジョブが用意されています。

3.2.3 データログテンプレート

データログ開始時の画面上にTemplate(テンプレート)ボタン、Save Template(テンプレートを保存)ボタンが配置されています。ここでは後で使用するためのテンプレートを設定することが可能です。まずジョブ詳細入力画面でできる限り情報を入力します。

Save Template

次にSave Template(テンプレートを保存)ボタンをタップします。入力画面が表示されますので、テンプレート名を入力します。

テンプレートを保存します。

Template

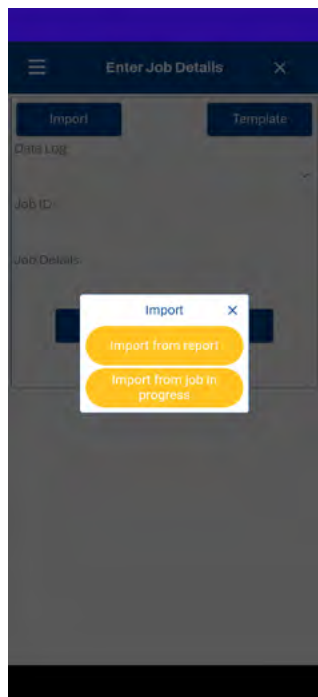
次回以降、同じテンプレートを使用したい場合はTemplate(テンプレート)ボタンをタップします。

- apply(適用)ボタンを押すと、前回の入力内容がジョブ詳細にコピーされて表示されます。
- このメニューには、他にもいくつかのオプションがあります。これらは Delete(削除)、Import(インポート)、Export(エクスポート)、Share(共有)、Close(閉じる)です。
- Delete(削除): 現在選択されているテンプレートを削除します。
- Import(インポート): 以前にエクスポートしたテンプレートを読み込むことができます。
- Export(エクスポート): テンプレートのZIPファイルを作成し、ユーザーのスマートフォンに保存してバックアップしたり、後でインポートできるようにします。
- Share(共有): ZIPファイルを作成し、ユーザーのスマートフォンにインストールされている別のアプリ(例: メール)を通じてテンプレートを共有します。
- Close(閉じる): テンプレートメニューを閉じます。

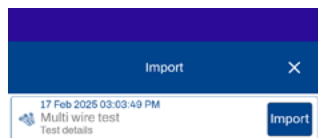
3.2.4 前回のジョブ内容・レポートのインポート

以前にレポートを作成していて、同じ詳細を使用したい場合は、レポートからインポートすることができます。Enter Job Details(ジョブ詳細入力)]画面の上部にあるImport(インポート)ボタンをタップすると、2つのボタンが表示されます。

1つは完了したレポートからインポートするためのボタン、もう1つは進行中のジョブからインポートするためのボタンです:



いずれかのオプションを選択すると、ユーザーにはインポート可能なレポートが表示されます:



ジョブ／レポートをタップすると、そのレポートが表示され、インポートする内容が正しいか確認できます。内容に問題がなければ、レポートを閉じてImport(インポート)ボタンをタップし、その詳細をコピーしてください。

エレベーターカゴの重量測定:

データログモードを選択する前に、ユーザー設定のRope(ワイヤーロープ)で正しいワイヤーロープが選択されていることを確認してください。また風袋引きボタンを押して読取値をゼロにしておいてください。

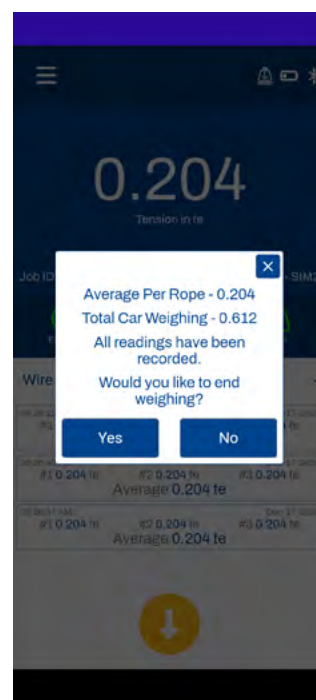
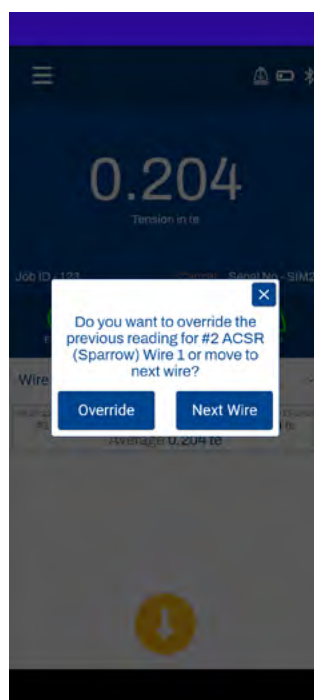
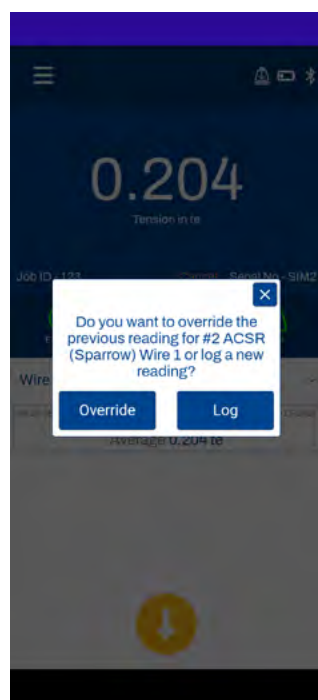
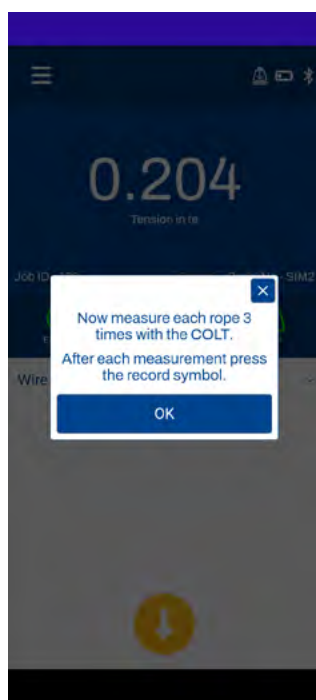
Enter Job Details(ジョブ詳細入力)画面に移動したら、必要項目をすべて入力し、Datalog(データログ)タイプでCar Weighing(エレベーターカゴ重量測定)を選択します。

Start/Save(開始/保存)ボタンを押すとポップアップが表示され、各ワイヤーロープにつき3回測定するよう求められます。OKボタンを押してポップアップを閉じ、適宜REC(記録)ボタンを押して測定データのログを取ってください。

ポップアップが表示され、3回分の読取値の記録を求められます。

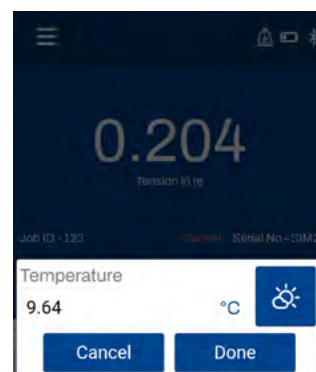
すべてのワイヤーロープで3回分の測定が完了すると、End Weighing(測定終了)を確認するポップアップメッセージが表示されます。測定終了を押すと、アプリは別のポップアップで合計重量データを表示します。

- ・次のワイヤーを選択するか、直前の読取値を上書きします。
- ・Log(ログ)ボタンをタップして新しい読取値を保存するか、Override(上書き)をタップして前回の読取値を上書きします。
- ・1本のワイヤーロープを3回測定すると、Next Wire(次のロープの測定)か、Override(上書き)のいずれかを選択します。
- ・Average Per Rope(各ロープの平均値)とTotal Car Weighing(カゴ重量)が表示されますので、測定を終了するかどうかを選択します。



測定終了の確認後、ユーザーは作業終了時の気温を入力するよう求められます。

入力を完了(Done)すると、別のポップアップが開きユーザーはログを表示、送信、削除するオプションを選択できます。このポップアップでは、ユーザーが新しいデータログを開始することもできます。



エレベーターカゴのバランス測定:

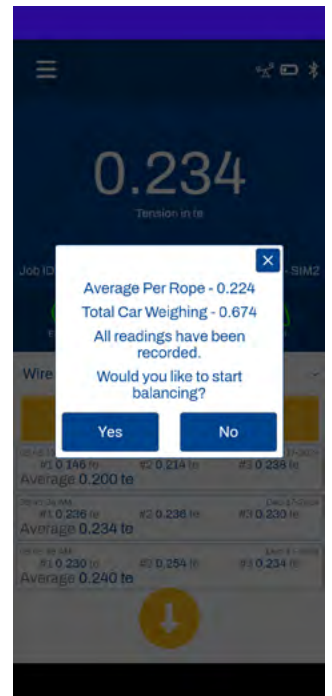
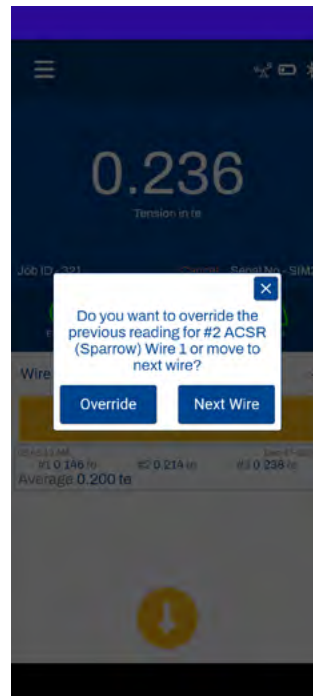
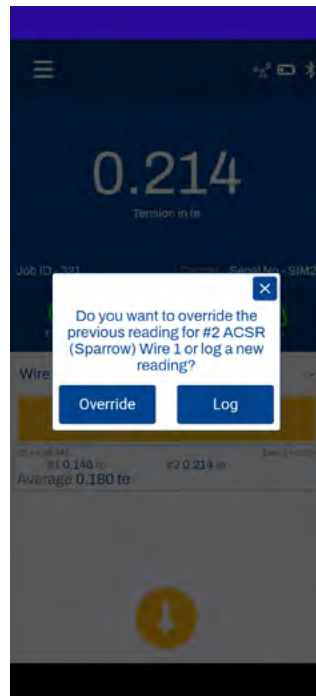
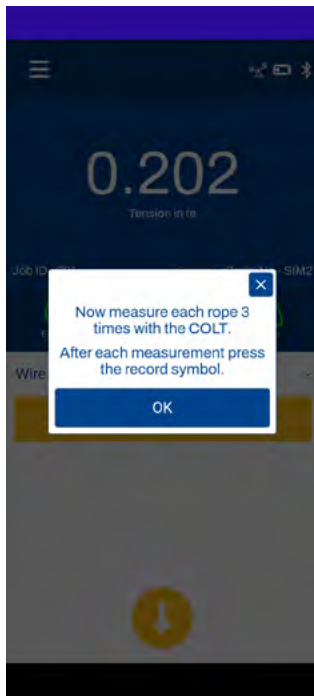
データログモードを選択する前に、ユーザー設定のRope(ワイヤーロープ)で正しいワイヤーロープが選択されていることを確認してください。また風袋引きボタンを押して読取値をゼロにしておいてください。

Enter Job Details(ジョブ詳細入力)画面に移動したら、必要項目をすべて入力し、Datalog(データログ)タイプでCar Balancing(エレベーターカゴバランス測定)を選択します。

Start/Save(開始/保存)ボタンを押すとポップアップが表示され、各ワイヤーロープにつき3回測定するよう求められます。OKボタンを押してポップアップを閉じ、適宜REC(記録)ボタンを押してデータログを行ってください。

ポップアップが表示され、3回分の測定値の記録を求められます。

すべてのワイヤーロープで3回分の測定が完了すると、Average Per Rope(各ロープの平均値)とTotal Car Weighing(カゴ重量)が表示され、Start Balancing(バランス調整開始)を確認するポップアップメッセージが表示されます。調整開始を押すと、ホーム画面に移り画面中央にスライダーグラフが表示されます。



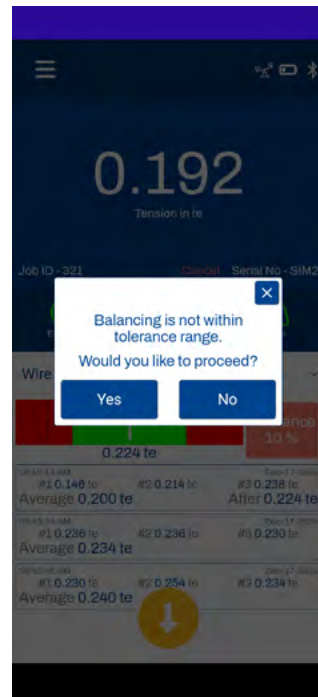
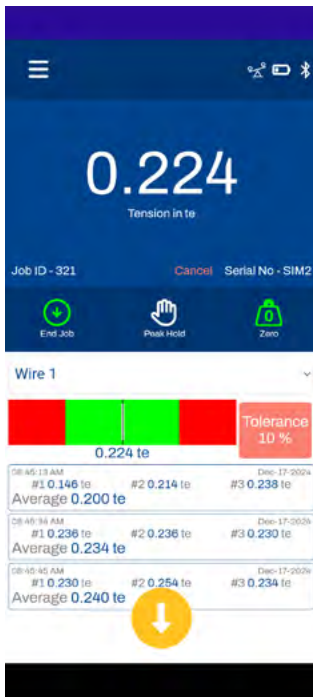
ホーム画面には、スライダーグラフと許容値設定のオプションが表示されます。

これまでと同様に:

- ・新しい測定値をLog(ログ)するか、Override(前回の測定を上書き)します。
- ・同じロープを3回測定してNext Wire(次のワイヤー)を選択するか、Override(直前の測定値を上書き)します。
- ・バランス調整に進むかどうか確認されますので、Yes(はい)をタップしてバランス調整に進みます。
- ・ホーム画面中央にはスライダーグラフとTolerance(許容値)設定が表示されます。
- ・Next Wire(次のワイヤー)に進むか、Override(上書き)かを確認するポップアップが再度表示されます。

バランス調整スライダーグラフ:

再度ワイヤーロープを選択し、赤と緑の帯が表示されたスライダーグラフを使って各ロープのバランスを調整します。



グラフの下に表示される数値は、バランス調整の指標として推奨されるターゲット値を示します。

読取値がグラフの緑色の目標範囲内に収まるようにロープの張力を調整し、REC(ログ)ボタンをタップしてログを取ります。

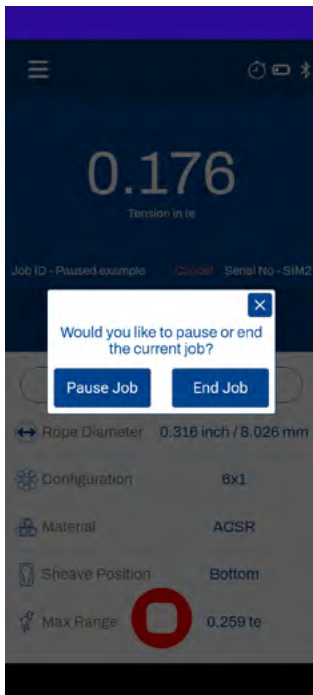
バランス調整後に取ったログデータはAfter(調整後)の読取値として保存されます。

1本のロープのログが完了したら、Next Wire(次のロープ)に進むか、Override(直前の測定を上書き)を選択します。

メニュー設定からReport(レポート)を選択すると、保存されたレポートを表示できます。

ログデータが緑色の目標範囲から外れている場合、次に進むかどうかを確認するポップアップが表示されます。

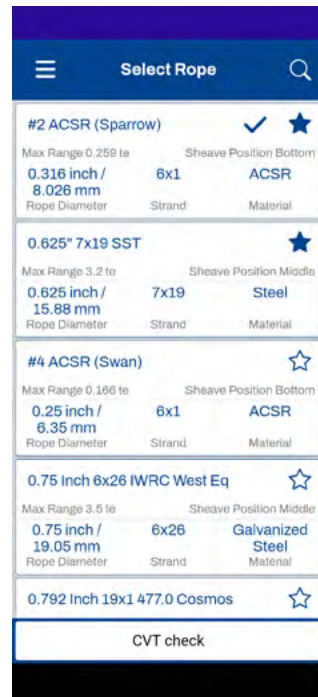
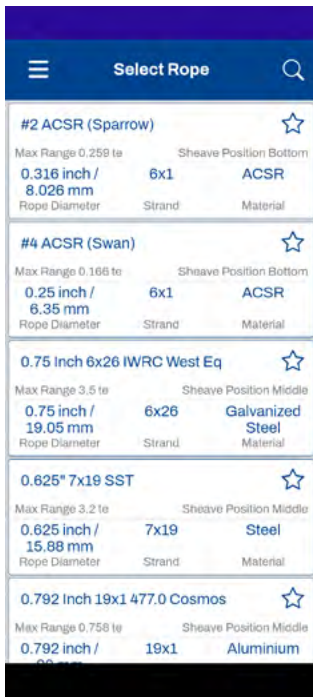
すべての測定を完了すると、End Balancing(バランス調整を終了)またはOverride the Last Reading(直前の測定を上書き)オプションが選択できます。



3.2.5 作業の中断

データログを完了できない場合は、End Log(終了)またはEnd Datalog(データログ終了)ボタンをタップして作業を一時停止できます。ポップアップが表示され、Pause Job(作業を一時中断)かEnd Job(作業の終了)かを確認されますので、一時中断を選択してください。

一時中断した作業は、メニューからJobs(作業)画面に進むことで再開できます。再開する場合は作業名をタップし、削除する場合は削除アイコンをタップしてください。



3.3 ワイヤーロープ

Rope(ワイヤーロープ)オプションでは、ユーザーは必要なワイヤーロープを選択できます。メニューバーからRope(ワイヤーロープ)を選び、ロープ一覧から目的のワイヤーロープを選択してください。

お気に入りリストに複数のワイヤーロープを追加したい場合も、このページから行うことができます。ロープの選択は、ワンタッチで簡単に行えます。

ワイヤロープをお気に入りリストに追加するには、対象のロープを数秒間長押ししてから離すか、星印(☆)をタップします。お気に入りに登録されたロープは、ロープ詳細の右側に表示される星印(★)で簡単に識別できます。

3.4 校正の簡易チェック

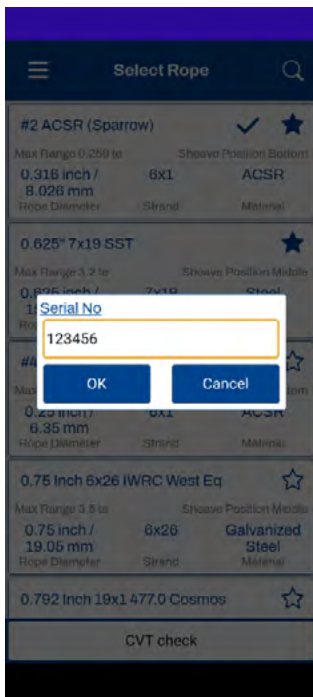
校正棒の使用回数は、アプリ内のCVT checkセクションで確認できます。CAL checkをタップすると、シリアル番号ごとの校正棒の使用回数が一覧表示されます。

Cal Rod Counter(校正棒カウンター)について:

COLTには校正確認用の校正棒(CAL Rod)が付属します。これにより、COLTの精度を確認・検証することが可能です。

CALロッドを使って校正チェックを行う手順:

1. アプリ内のRope(ワイヤーロープ)セクションにCAL Checkオプションがあり(※シミュレーターに接続中はこの機能は使用できません)、ユーザーがこれを選択すると、シリアル番号の入力を求めるポップアップウィンドウが表示されます。
2. 校正棒のシリアル番号を入力し、SAVE(保存)を選択するとアプリはホーム画面に戻ります。
3. 校正チェック開始前に、COLTを平らな面に置き、荷重値が表示される場合はゼロリセットしてください。
4. COLTを手に取り、校正棒をシーブの間に挟んで固定します。
5. 3回測定し校正チェックを行います。平均荷重値が **1.32t~1.40t(2910~3090ポンド)** の範囲内であれば、校正テストは合格です。
6. OKを押すと、アプリはRope(ワイヤーロープ)ページに戻り、次の作業で使用するロープを選択できるようになります。



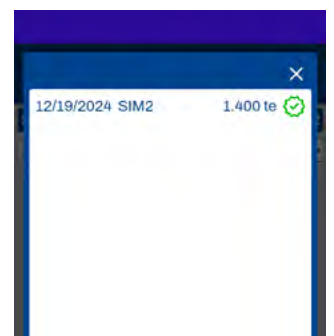
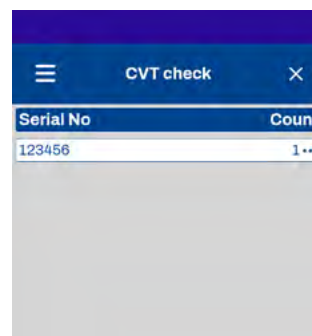
結果をタップすると、使用状況が表示されます。校正棒の**最大使用回数は 500回**に制限されているため、正しいカウントを把握するためにも**同じモバイルデバイス**の使用を推奨します。

校正棒の使用回数は、メニュー内のReport(レポート)セクションで確認できます。詳細は本マニュアルのRope(ロープ)セクションを参照してください。

最大使用回数に達すると、アプリはユーザーに警告メッセージを表示します。

校正棒を使用して校正チェックを行う方法についてのビデオガイドを見るには、以下のリンクを選択してください。

<https://youtu.be/d-wlbMeRfoo>



3.5 ユーザー設定

ここではコルトでの測定前に各種設定を行うことができます。張力単位、分解能及びハイ/ローアラームのしきい値は全てこのユーザー設定から設定可能です。

Alarm アラーム:

アラーム設定ではハイ/ローアラームの各しきい値を設定することができます。また、アラーム時の振動通知(規定:オフ)やサウンド通知(規定:オン)の設定も可能です。

Unit 測定単位:

ここでは測定単位の設定ができ、ホーム画面で表示される読取値の表示単位はこの設定がデフォルトとして反映されます。単位はkg, te, lbs, kNを選択できます。

Resolution 分解能:

分解能は、荷重値の最小変化を設定する項目です。選択する単位によって分解能は異なります。

- kg単位: 2、5、10
- tonne単位: 0.002、0.005、0.010
- lbs単位: 2、5、10
- kN単位: 0.02、0.05、0.10

ユーザーは、これらの設定値をドロップダウンリストから選択できます。

Show Negative Value 読取値のマイナス表示:

この設定では、ホーム画面にマイナスの荷重値を表示するかどうかを選択できます。無効(OFF)にした場合、荷重値が0以下のときはホーム画面に0と表示されます。

Image Text menu 画像テキストメニュー:

写真撮影時に画像へテキストを追加する機能です。この機能はマルチアンカーおよびマルチワイヤーログタイプで使用可能ですが、初期設定ではオフになっています。

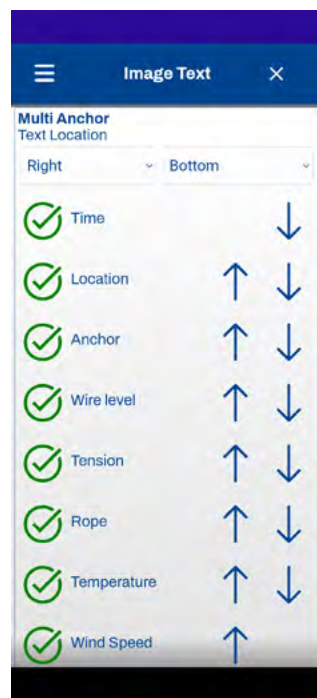
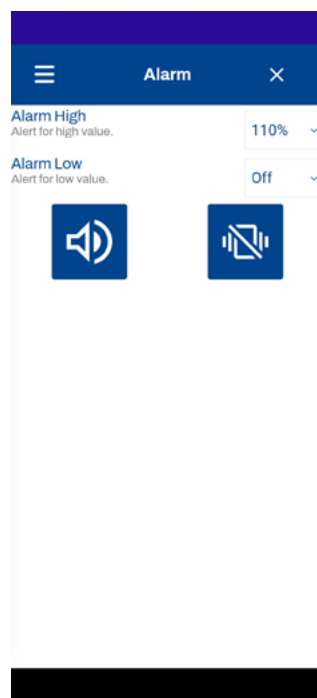
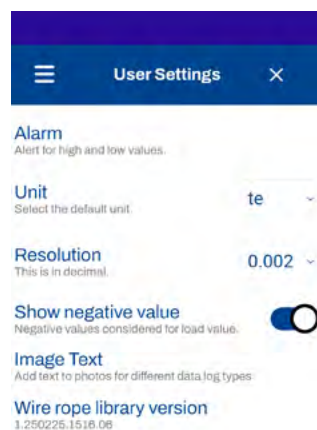
設定はログタイプごとに個別に行われます。ユーザーは、テキストを画像のどこに表示するか、また表示順をカスタマイズできます。

- 緑のチェック(✓)／赤のバツ(×)アイコンをタップして各項目のON/OFFを切り替えます。
- 矢印をタップすると、テキスト行を上下に移動できます。
- 有効な行がない場合、または1行しかない場合は矢印は表示されません。

写真には、ログの種類に応じて以下の情報を表示することができます:

- | | |
|-----------------------|---|
| * Time 時刻: | 写真が撮影された時刻 |
| * Location 位置情報: | 写真撮影時のスマートフォンの位置情報(位置情報アクセスが許可されていない場合は表示されません) |
| * Rope ワイヤーロープ名: | ログエントリーから取得 |
| * Temperature 温度: | ログエントリーから取得 |
| * Wind Speed 風速: | ログエントリーから取得 |
| * Tension 張力: | ログエントリーから取得 |
| * Wire Level ワイヤーレベル: | ログエントリーから取得 |
| * Anchor アンカー名: | ログエントリーから取得 |

なお、ログエントリーにBefore(前)とAfter(後)の両方の値がある場合は、最後に記録された値が使用されます。

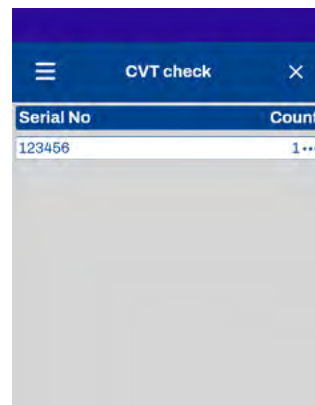
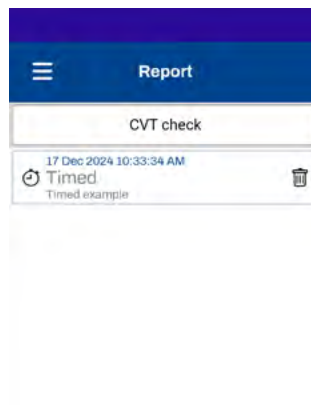


* Wire Rope Library Version ワイヤーロープライブラリのバージョン

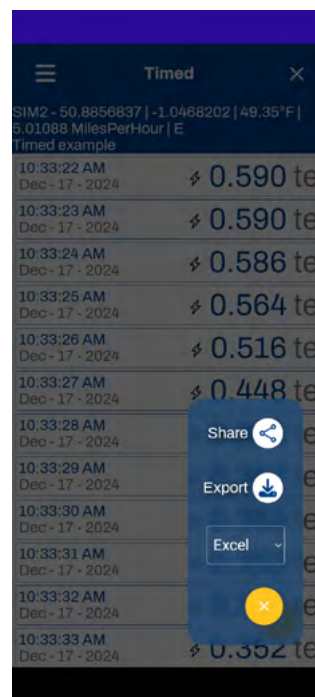
この項目では、アプリ内で使用されているワイヤーロープデータベースの現行バージョンが表示されます。

3.6 レポート

レポートオプションでは全てのログデータが利用できます。
校正棒カウンターもここで確認できます。



このページではログデータの閲覧、送信ができるほか、
CSV/Excel/PDFファイル形式でのダウンロードが可能です。



3.7 COLTの接続/解除:

Disconnect(接続解除)オプションをタップすると、周囲の接続可能な全てのCOLTを検索し、スキャンリストに一覧表示されます。
そこから接続したいCOLTを選択してください。
アプリの使用中に張力の読取に不具合が発生した場合は、このオプションからCOLTへの再接続を試してみてください。

3.8 ワイヤロープデータベースの更新:

アプリのインストールが完了したら、ワイヤロープデータベースの更新をまず一番はじめに行ってください。
データベースを更新すると、過去に登録済みのワイヤロープ情報が追加されます。

注: 一度アプリが更新されると、以前のバージョンのデータベースへ戻ることはできません。

3.9 ヘルプ:

ここでは最新のCOLアプリの取扱説明書をダウンロードできます。
お使いのモバイル端末をPDFファイルが開けるように設定しておいてください。

3.10 製品情報:

Product Info(製品情報)をタップすると、COLTのウェブページへリダイレクトされます。
お使いのモバイル端末が Wi-Fi又はインターネットに繋がっていることを確認してください。

お問い合わせ先



本社	〒650-0046	兵庫県神戸市中央区港島中町5-1-1	TEL 078-302-0460 / FAX 078-302-1404
東京支店	〒104-0052	東京都中央区月島1-27-9第4いちかわビル	TEL 03-5546-1232 / FAX 03-5546-1238
名古屋支店	〒455-0801	愛知県名古屋市港区小碓2-126	TEL 053-389-5300 / FAX 053-389-5301
神戸支店	〒650-0046	兵庫県神戸市中央区港島中町5-1-1	TEL 078-302-2370 / FAX 078-302-0446
福岡支店	〒816-0912	福岡県大野城市御笠川2-16-18	TEL 092-513-3061 / FAX 092-513-3062
札幌営業所	〒003-0871	北海道札幌市白石区米里一条2-14-12	TEL 011-872-7161 / FAX 011-872-7170
仙台営業所	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町30-24	TEL 022-287-3140 / FAX 022-287-3144
北関東営業所	〒370-0854	群馬県高崎市下之城町532-4	TEL 027-367-4611 / FAX 027-367-4615